

2023 年度 第 6 回 一般社団法人 日本地球化学会理事会 議事録

日時 2024 年 4 月 18 日 (木) 10:00-11:50

場所 zoom による web 開催

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/84481134447?pwd=zPsGy3LLOsMgJnjPhLOdJGaG126McI.1>

出席者 高橋 嘉夫, 南 雅代, 横山 哲也, 飯塚 理子, 板井 啓明, 上野 雄一郎, 太田 充恒, 小川 奈々子, 小畑 元, 癸生川 陽子, 小木曾 哲, 白井 厚太郎, 瀬戸 繭美, 角皆 潤, 古川 善博, 堀 真子, 丸岡 照幸, 山口 瑛子, 山本 順司, 若木 重行, 吉田 尚弘 (監事)

欠席者 黒田 潤一郎, 橘 省吾, 平田 岳史, 川幡 穂高 (監事)

オブザーバ 鈴木 勝彦, 田中 万也, 豊田 栄, 福士 圭介

1. 審議事項

1.1 2024 年度年会について

若木企画幹事およびオブザーバ参加の福士会員より, 2024 年金沢大会の詳細, 基盤セッション, 特別セッション, 学生発表賞 (概要), ショートコース (開催の概要), その他学会行事について資料に沿って提案があり, 承認された. 特に参加費について, コロナ禍によるオンライン対応を実施する前である 2019 年度年会の費用を参考とし, 2023 年度年会よりも値上げすることとなった. また, 2025 年年会における基盤セッションについて, 2024 年 7 月ごろから議論を進めていくことが確認された.

高橋会長より, 能登半島地震に関連して, 高校生セッションに参加する被災地の高校生の旅費援助について提案があり, 承認された.

1.2 定時総会の開催方法について

板井総務幹事より, 定時総会の開催準備のスケジュールについて説明があった. また, 開催形式について, オンライン配信を行うがオンライン参加者は出席者数に勘定しないという形式が提案され, 承認された.

1.3 学会ウェブサイトの刷新について

山口庶務幹事より, 今後の方針として以下の三点が提案され, 承認された.

- ✓ 2024 年度年会サイトは株式会社 exMedia に委託すること
- ✓ 年会サイトは制作を株式会社ノイエカ, 保守運用を株式会社国際文献社に委託すること
- ✓ 会員限定コンテンツを配信するため YouTube アカウントを作成すること

1.4 賛助会員/協賛企業の整理について

太田会員幹事より、賛助会員/協賛企業を賛助会員/特別賛助会員として整理するため、「会員及び会費規程」の改訂、「正会員および名誉会員細則」の制定、「賛助会員細則」の制定が資料に沿って提案され、承認された。

1.5 その他

鈴木 GJ 編集委員長より、「日本地球化学会発行のオープンアクセス英文誌 Geochemical Journal の国際情報発信強化に向けた多角的取組」が令和6(2024)年度科学研究費助成事業「研究成果公開促進費」の事業課題として交付内定をしたことについて報告があり、投稿カテゴリーにおいて Express Letters を廃止し Impact Letters および Short Letters を新設するなど、交付申請書に記載する今後の取組について資料に沿って説明があった。

高橋会長より、日本地球化学会が正会員として参画する化学連合について、2025年7月から連絡会へ移行することが提案され、承認された。

2. 報告事項

2.1. 会長

高橋会長より、以下の内容について説明があった。

- ✓ 2023年度地球化学若手会・春の研究会の報告
- ✓ IGC2024への参加
- ✓ 国際セッション
- ✓ JpGU2024大会における共催セッション

2.2. 副会長、名誉会員推薦委員会

南副会長より、名誉会員推薦委員会の報告が行われ、名誉会員選出規程は改訂しないが定期的に意見交換を行って候補者リストを作成することや名誉会員リストを学会ウェブページに掲載することが説明された。

2.3. 副会長、将来計画委員会

横山副会長より、将来計画委員会の報告が行われ、2024年度年会における夜間集会は現地開催としオンライン配信も行うこと、議論内容については今後検討していくことが説明された。

2.4. GJ 編集委員長

鈴木 GJ 編集委員長より、編集状況などが報告され、特にレビュー論文の投稿を募集していることが説明された。

2.5. 出版幹事

丸岡出版幹事より、査読者表彰などについて議論していくことが説明された。

2.6. 企画幹事

若木企画幹事より、2024 年度年会に関して、年会ウェブページを株式会社 exMedia に、申込システムを株式会社国際文献に発注したことが報告された。

2.7. 広報幹事

山本広報幹事より、ウェブサイト更新、ニュース記事・講師派遣、JpGU および Goldschmidt 会議でのブース出展、学会ウェブサイト刷新、クリアファイルの制作などについて報告があった。

2.8. 会員幹事

太田会員幹事より、2023 年 12 月～2024 年 2 月の会勢報告があった。

2.9. 会計幹事

豊田会計幹事より、GJ に関する 2023 年度科研費の会計が閉じたこと、2024 年度科研費の手続きを進めていること、監査日程の決定について報告があった。

2.10. 国際幹事

上野国際幹事より、中華民国地質學會 113 年年会への招待講演者を 4 名派遣すること、Goldschmidt 会議の日本招致に向けて Geochemical Society と意見交換を実施したことについて報告があった。

2.11. 庶務幹事

山口庶務幹事より、今後の理事会の実施予定について報告があった。

以上の議事を終え、11時50分に閉会した。